

科目名	キャリア教育(1)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	堀夏美
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	職業人として社会に貢献するための基礎力を身につける。						
到達目標	社会人として業界に就職するための基礎社会人マナーを身につけ、明るく元気な学生を育み 学生自身に社会人としての基礎力を身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月18日	講義・演習	サポートアンケート/ITリテラシー/ シラバス配布	レポート
2	4月25日	講義・演習	週報記載/面談スケジュール/青本で学校を理解する	レポート
3	5月9日	講義・演習	週報記載/現場参加の心構えをする/便覧	レポート
4	5月16日	講義・演習	週報記載/メールの書き方 送り方 与える印象を理解する	ワークシート提出
5	5月23日	講義・演習	週報記載/電話の取り方/かけ方 与える印象を理解する	ワークシート提出
6	5月30日	講義・演習	週報記載/プロ意識とは何か。 自己評価点検を行う/生活習慣の見直し	ワークシート提出
7	6月6日	講義・演習	週報記載 グループワークにてコミュニケーションを学ぶ	ワークシート提出
8	6月13日	講義・演習	週報記載 音楽業界への基礎知識を理解する	ワークシート提出
9	6月20日	講義・演習	週報記載 就職活動における企業を調べるツールを理解する	ワークシート提出
10	7月4日	講義・演習	週報記載 就職活動の方法を理解する	ワークシート提出
11	7月11日	講義・演習	週報記載 ミッションステートメントを書く	ワークシート提出
12	7月18日	講義・演習	週報記載 履歴書の書き方講座 事例検討をする	ワークシート提出
13	8月29日	講義・演習	週報記載/履歴書の書き方を理解する	ワークシート提出
14	9月5日	講義・演習	イベント実践を通して業界人としてのコミュニティを学ぶ	ワークシート提出
15	9月12日	講義・演習	イベント実践を通して業界人としてのコミュニティを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習			前週の自分を振り返り、掲げる目標に対して向かえているかを自分で理解する。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	キャリア教育(2)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	堀夏美
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	職業人として社会に貢献するための基礎力を身につける。						
到達目標	社会人として業界に就職するための基礎社会人マナーを身につけ、明るく元気な学生を育み 学生自身に社会人としての基礎力を身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月3日	講義・演習	週報記載/スケジュール確認/目標設定	レポート
2	10月10日	講義・演習	週報記載/エゴグラムでわかる自己評価を理解する	レポート
3	10月17日	講義・演習	週報記載/就職活動 スーツの着こなしを学ぶ	レポート
4	10月24日	講義・演習	週報記載/SPI 試験について理解する	ワークシート提出
5	10月31日	講義・演習	週報記載/SPI 試験について理解する	ワークシート提出
6	11月6日	講義・演習	週報記載/就職活動 プラットフォームへの理解する	ワークシート提出
7	11月21日	講義・演習	週報記載/敬語・謙譲語の理解	ワークシート提出
8	11月28日	講義・演習	週報記載/敬語・謙譲語の理解/社会人の基礎	ワークシート提出
9	12月5日	講義・演習	週報記載/社会人の基礎	ワークシート提出
10	12月19日	講義・演習	週報記載/プレゼン力を磨く	ワークシート提出
11	1月16日	講義・演習	週報記載/社会人に向けての将来設計	ワークシート提出
12	1月23日	講義・演習	週報記載/スケジュール確認/2年生の目標設定	ワークシート提出
13	1月30日	講義・演習	1年間の振り返り、2年へ向けて	ワークシート提出
14	2月13日	講義・演習	イベント実践を通して業界人としてのコミュニティを学ぶ	ワークシート提出
15	2月20日	講義・演習	イベント実践を通して業界人としてのコミュニティを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習			前週の自分を振り返り、掲げる目標に対して向かえているかを自分で理解する。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	キャリア教育(3)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	堀夏美
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	職業人として社会に貢献するための基礎力を身につける。						
到達目標	社会人として業界に就職するための基礎社会人マナーを身につけ、明るく元気な学生を育み 学生自身に社会人としての基礎力を身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月18日	講義・演習	サポートアンケート/ITリテラシー/シラバス配布	レポート
2	4月25日	講義・演習	週報記載/1年間の目標設定	レポート
3	5月9日	講義・演習	週報記載/社会人の基礎/1年生の復習	レポート
4	5月16日	講義・演習	週報記載/社会人の基礎/1年生の復習	ワークシート提出
5	5月23日	講義・演習	週報記載/社会人の基礎/1年生の復習	ワークシート提出
6	5月30日	講義・演習	週報記載/社会人の基礎/1年生の復習	ワークシート提出
7	6月6日	講義・演習	週報記載/グループワークでコミュニケーション能力を付ける	ワークシート提出
8	6月13日	講義・演習	週報記載/グループワークでコミュニケーション能力を付ける	ワークシート提出
9	6月20日	講義・演習	週報記載/グループワークでコミュニケーション能力を付ける	ワークシート提出
10	7月4日	講義・演習	週報記載自分自身の理解	ワークシート提出
11	7月11日	講義・演習	週報記載就職活動確認/リクエスト授業	ワークシート提出
12	7月18日	講義・演習	週報記載/リクエスト授業	ワークシート提出
13	8月29日	講義・演習	週報記載/音楽業界について調べる	ワークシート提出
14	9月5日	講義・演習	イベント実践を通して業界人としてのコミュニティを学ぶ	ワークシート提出
15	9月12日	講義・演習	イベント実践を通して業界人としてのコミュニティを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習			前週の自分を振り返り、掲げる目標に対して向かえているかを自分で理解する。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	キャリア教育(4)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	堀夏美
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	職業人として社会に貢献するための基礎力を身につける。						
到達目標	社会人として業界に就職するための基礎社会人マナーを身につけ、明るく元気な学生を育み 学生自身に社会人としての基礎力を身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月3日	講義・演習	週報記載/スケジュール確認/目標設定	レポート
2	10月10日	講義・演習	週報記載/エゴグラムでわかる自己評価を理解する	レポート
3	10月17日	講義・演習	週報記載/就職活動 スーツの着こなしを学ぶ	レポート
4	10月24日	講義・演習	週報記載/SPI 試験について理解する	ワークシート提出
5	10月31日	講義・演習	週報記載/SPI 試験について理解する	ワークシート提出
6	11月6日	講義・演習	週報記載/就職活動 プラットフォームへの理解する	ワークシート提出
7	11月21日	講義・演習	週報記載/敬語・謙譲語の理解	ワークシート提出
8	11月28日	講義・演習	週報記載/敬語・謙譲語の理解/社会人の基礎	ワークシート提出
9	12月5日	講義・演習	週報記載/社会人の基礎	ワークシート提出
10	12月19日	講義・演習	週報記載/プレゼン力を磨く	ワークシート提出
11	1月16日	講義・演習	週報記載/社会人に向けての将来設計	ワークシート提出
12	1月23日	講義・演習	週報記載/スケジュール確認	ワークシート提出
13	1月30日	講義・演習	就職に向けて	ワークシート提出
14	2月13日	講義・演習	イベント実践を通して業界人としてのコミュニティを学ぶ	ワークシート提出
15	2月20日	講義・演習	イベント実践を通して業界人としてのコミュニティを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習			前週の自分を振り返り、掲げる目標に対して向かえているかを自分で理解する。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	イベントマネジメント(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	堀夏美
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	イベントの成り立ちを学ぶ。グループワークを通じて実際の職務を円滑にすすめるためのスキルを身に着けます。イベントに必要な集客・宣伝・運営・イベント管理・調整業務からビジネススキルを習得します。チームで業務を行う中でイベントをマネージメントできる人材を育成します。						
到達目標	社会人としてのコミュニケーションスキルの習得、グループワークから実際の業務進行が行えるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月15日	講義・演習	自己紹介・オリエンテーションから人前で話せる力を身につける。	レポート
2	4月22日	講義・演習	イベントの成り立ちを学習する	レポート
3	5月13日	講義・演習	イベントにおけるディスカッション方法を身につける事ができる	レポート
4	5月20日	講義・演習	グループディスカッション・業務報告ができるようになる。	レポート
5	5月27日	講義・演習	グループディスカッション・業務報告の重要性を理解する	レポート
6	6月3日	講義・演習	グループワーク、資料作成ができる	レポート
7	6月10日	講義・演習	イベント実務に必要なコミュニケーションを理解する	レポート
8	6月17日	講義・演習	グループワーク・実務資料(マニュアルの作成)を行うことができる	レポート
9	6月24日	講義・演習	グループワークを通じたイベントの実施ができる	レポート
10	7月8日	講義・演習	イベント実施後の振り返り、終了報告をグループで行うことができる	レポート
11	7月15日	講義・演習	イベント運営に向けたグループワークを行う。	レポート
12	8月26日	講義・演習	FESの運営方法からマネジメントを学ぶことができる。	レポート
13	9月2日	講義・演習	(テスト)運営方法を考案しグループ内で発表することができる	レポート
14	9月9日	講義・演習	イベント実践を通してイベントマネジメントを学ぶ	レポート
15	9月16日	講義・演習	イベント実践を通してイベントマネジメントを学ぶ	レポート
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	イベントマネジメント(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	堀夏美
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	イベントの成り立ちを学ぶ。グループワークを通じて実際の職務を円滑にすすめるためのスキルを身に着けます。イベントに必要な集客・宣伝・運営・イベント管理・調整業務からビジネススキルを習得します。チームで業務を行う中でイベントをマネージメントできる人材を育成します。						
到達目標	社会人としてのコミュニケーションスキルの習得、グループワークから実際の業務進行が行えるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月7日	講義・演習	イベント実習の振り返りをおこない業務報告ができる	レポート
2	10月14日	講義・演習	新しいイベントに向けたグループワークを行う	レポート
3	10月21日	講義・演習	グループ発表1 プレゼンテーションの方法を学ぶ	レポート
4	10月28日	講義・演習	プレゼンテーションを通じて問題点の洗い出しを行い業務を分析する	レポート
5	11月4日	講義・演習	グループワーク 分析結果をまとめることができる	レポート
6	11月11日	講義・演習	分析結果から運営資料をまとめる方法を学ぶ	レポート
7	11月18日	講義・演習	グループ発表2 プレゼンテーションができるようになる	レポート
8	11月25日	講義・演習	グループワーク イベントマネジメント資料のまとめ方を理解できる	レポート
9	12月2日	講義・演習	グループワーク イベントマネジメント資料のまとめ方を理解できる 続き	レポート
10	12月9日	講義・演習	グループワーク イベント業務を進める準備を理解する	レポート
11	12月16日	講義・演習	グループワーク イベント業務の資料を作成する。	レポート
12	1月20日	講義・演習	グループワーク イベント業務の資料を完成する事ができる	レポート
13	1月27日	講義・演習	イベント実行に向けたミーティングを行う事ができる。	レポート
14	2月10日	講義・演習	イベント実践を通してイベントマネジメントを学ぶ	レポート
15	2月17日	講義・演習	イベント実践を通してイベントマネジメントを学ぶ	レポート
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	キャリアデザイン(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	堀夏美
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	就職における、面接マナー・現在出ている求人の確認、一人ひとりが目標とする就職先の希望を明確にする 就職活動の準備として自己分析のポイントを理解し、就職活動への苦手意識を軽減する目的の授業 ・自己分析を通して自己理解を深める ・就職活動の仕組みを知る ・就職活動において重要な自己表現能力を磨く						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 適切に相手に伝えられる言語化力を身につける 幅広い考え方で物事を柔軟に捉えられるようになる 自ら考え、判断できるようになる 						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義・演習	就職活動の全体像と流れを知る	自分自身の分析
2	10月9日	講義・演習	自己分析の重要性や方法を知る	講義の内容をメモを取り振り返る(レポート)
3	10月23日	講義・演習	就職活動の軸を見つける	講義の内容をメモを取り振り返る(レポート)
4	10月30日	講義・演習	会社選びの方法を知る	講義の内容をメモを取り振り返る(レポート)
5	11月6日	講義・演習	自己PRに書く内容を見つける	講義の内容をメモを取り振り返る(レポート)
6	11月13日	講義・演習	履歴書 / ESでの伝え方を知る	講義の内容をメモを取り振り返る(レポート)
7	11月20日	講義・演習	志望動機 / ガクチカに書く内容を見つける	レポート
8	11月27日	講義・演習	履歴書 / ESを書き、言語化力を磨く	講義の内容をメモを取り振り返る(レポート)
9	12月4日	講義・演習	面接で話す準備をする	講義の内容をメモを取り振り返る(レポート)
10	12月18日	講義・演習	就職活動のマナーを身につける	講義の内容をメモを取り振り返る(レポート)
11	1月15日	講義・演習	模擬面接を通して面接の感覚を掴む	企画制作に関わる資料の製作(レポート)
12	1月22日	講義・演習	グループディスカッションの流れを理解する	講義の内容をメモを取り振り返る(レポート)
13	1月29日	講義・演習	模擬面接を通して質問の意図を理解する	講義の内容をメモを取り振り返る(レポート)
14	2月12日	講義・演習	イベント実践を通して社会人としての振る舞いを学ぶ	レポート
15	2月19日	講義・演習	イベント実践を通して社会人としての振る舞いを学ぶ	レポート
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	音楽史(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	中町俊自
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	ロックの歴史を時代を追って研究する。異なるジャンル、時代のロックがいかに現在のポピュラーミュージックに影響を与えているかを考えながら学ぶ。						
到達目標	1)各時代のジャズのスタイルの違いを説明できること。 2)音楽との関係性を知ること。 3)有名な曲の歴史的意義を知る。 4)各自の音楽制作、演奏、企画に役立てる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月5日	講義・演習	日本のポップミュージック史の概観と2000年以降のミュージックシーン	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
2	10月12日	講義・演習	和製ポップスの芽生え	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
3	10月19日	講義・演習	エレキとGSブーム	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
4	10月26日	講義・演習	フォークの時代	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
5	11月2日	講義・演習	はっぴいえんどが日本語ロックを生んだ。	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
6	11月16日	講義・演習	進化する「日本語ロック」	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
7	11月23日	講義・演習	都会派ポップス～ニューミュージックの誕生	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
8	11月30日	講義・演習	YMOの出現とニューウェーブ	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
9	12月7日	講義・演習	歌謡曲とポップスの融合	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
10	12月14日	講義・演習	ロックの大衆化とバンドブーム	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
11	12月21日	講義・演習	90年代、メガヒット時代	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
12	1月11日	講義・演習	テスト	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
13	1月18日	講義・演習	東京が世界最大の音楽都市となり、日本の音楽産業が頂点を迎える。	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
14	2月1日	講義・演習	総まとめ	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
15	2月8日	講義・演習	テスト	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
準備学習 時間外学習			自分から進んで授業に関する音源を探して聴くこと。	
【使用教科書・教材・参考書】				
適宜、講師が用意。				

科目名	MusicTheory(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 小林由佳 白鳥早也香 山城柚季 吉原佑香
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴						
授業の学習 内容	音楽業界でステップアップしていく為には、楽曲の分析やオリジナル曲作曲、アレンジの能力が必要となる。本講義では音楽理論の基礎から応用までをしっかりと理解し、実際に表現に繋げていけるよう学んで行く。					
到達目標	楽曲分析ができるようになり、実際にオリジナル曲作曲や楽曲アレンジができるようになる。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義・演習	楽譜の歴史、五線譜、クレフ	五線譜の各部名称とクレフ、音名を復習する
2	5月8日	講義・演習	音名	五線に書かれた音符の音名と鍵盤の位置が一致出来るように復習する
3	5月15日	講義・演習	音名、音符、休符	音名、音符、休符の表し方と連符を復習する
4	5月22日	講義・演習	音符、休符	音符、休符の表し方と連符を復習する
5	5月29日	講義・演習	拍子、複合拍子	小節線、単純拍子、複合・混合拍子、タイについて復習する
6	6月5日	講義・演習	記譜法、臨時記号	調号と臨時記号の区別、臨時記号の効力を学び正しい楽譜が書けるようになる
7	6月12日	講義・演習	反復記号	反復記号を学び、音源を聴き楽譜を迫るようになる
8	6月19日	講義・演習	音程	音程(度数の数え方、全音と半音)を復習する
9	6月26日	講義・演習	音程	音程(2.3.6.7度、# ♭あり)を復習する
10	7月3日	講義・演習	音程	音程(1.4.5.8度、# ♭あり)を復習する
11	7月10日	講義・演習	メジャースケール	メジャースケールの仕組みを復習し、実際に歌ったり楽器で弾いてみる
12	7月17日	講義・演習	メジャースケール	5度圏を用い、調号を用いてスケールを書けるようにし、実際に歌ったり楽器で弾いてみる
13	8月28日	講義・演習	マイナースケール	調号を用いてナチュラルマイナースケールを書けるようにし、実際に歌ったり楽器で弾いてみる
14	9月4日	講義・演習	マイナースケール	ハーモニックマイナー、メロディックマイナースケールを書けるようにし、実際に歌ったり楽器で弾いてみる
15	9月11日	講義・演習	スコアリーディング	総復習をし、理解度を高める
準備学習 時間外学習			前回までの内容をワークを使って復習、次の内容に備える	
【使用教科書・教材・参考書】				
「ゼロから始める音楽理論」喜多弘悦(著)滋慶教育科学研究所(監修)株式会社国際教育センターCOM音楽出版(発行)株式会社滋慶教育事業部				

科目名	Ear Training(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 小林由佳 白鳥早也香 山城袖季 吉原佑香
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴						
授業の学習 内容	音楽業界でステップアップしていく為には、楽曲の分析やオリジナル作曲、アレンジの能力が必要となる。本講義では音楽理論の基礎から応用までをしっかりと理解し、実際に表現に繋げていけるよう学んで行く。					
到達目標	楽譜を初見で演奏できるようになり、さらに耳コピができるようになる。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)	
1	4月17日	講義・演習	音の歴史、モールス信号、周波数、効果音について知る／リズム打ち・書き取り方について知る。音の高低の判定	配布された授業プリントの リズム書き取りを正確に叩けるようにする	
2	5月8日	講義・演習	4分音符、4分休符のリズム打ち／3拍子と4拍子のビート感覚を養う／2線紙を使って音の高低判定／2度音程を歌い音程感を身に付ける	配布された授業プリントの リズム打ちや書き取りを復習する	
3	5月15日	講義・演習	8分音符のリズム打ちと5線紙を使ってリズムの書き取り3線紙を使って音の高低判定	配布された授業プリントの リズム打ちや書き取りを復習する	
4	5月22日	講義・演習	4分音符、4分休符、8分音符のリズム打ち、リズムの書き取り、5線紙を使ってメロディーの書き取り	配布された授業プリントの リズム打ちやメロディー書き取り、音程を復習する	
5	5月29日	講義・演習	16分音符のリズム打ち、リズム書き取り、休符の多いメロディーの書き取り 新曲視唱	配布された授業プリントの リズム打ちや新曲視唱、音程を復習する	
6	6月5日	講義・演習	16分音符のリズム打ち、リズム書き取り、休符の多いメロディーの書き取り 新曲視唱	配布された授業プリントの リズム打ちや新曲視唱、音程を復習する	
7	6月12日	講義・演習	前回までの内容を復習する	今までの内容を復習し次回の授業に備える	
8	6月19日	講義・演習	4分音符、4分休符、8分音符、16分音符のリズム打ち、リズム書き取り、メロディーの書き取り、新曲視唱	配布された授業プリントの リズム打ちや新曲視唱、音程を復習する	
9	6月26日	講義・演習	8分休符(裏打ち)のリズム打ち、書き取り、メロディーの書き取り、新曲視唱	配布された授業プリントの リズム打ちや新曲視唱、音程を復習する	
10	7月3日	講義・演習	4分音符、4分休符、8分音符、16分音符、8分休符のリズム打ち・書き取り、メロディー書き取り、新曲視唱	配布された授業プリントの リズム打ちや新曲視唱、音程を復習する	
11	7月10日	講義・演習	4分音符、4分休符、8分音符、16分音符、8分休符のリズム打ち・書き取り、メロディー書き取り、新曲視唱	配布された授業プリントの リズム打ちや新曲視唱、音程を復習する	
12	7月17日	講義・演習	4分音符、4分休符、8分音符、16分音符、8分休符のリズム打ち・書き取り、メロディー書き取り、新曲視唱、Major, minorのコード判定	配布された授業プリントの リズム打ちや新曲視唱、音程を復習する	
13	8月28日	講義・演習	期末予備テスト	配布された授業プリントの リズム打ちや新曲視唱、音程を復習する	
14	9月4日	講義・演習	期末テスト	配布された授業プリントの リズム打ちや書き取りを復習する	
15	9月11日	講義・演習	テスト返却、総復習	配布された授業プリントの リズム打ちや書き取りを復習する	
準備学習 時間外学習			前回までの内容をワークを使って復習、次の内容に備える		
【使用教科書・教材・参考書】					
「ゼロから始める音楽理論」喜多弘悦(著)滋慶教育科学研究所(監修)株式会社国際教育センターCOM音楽出版(発行)株式会社滋慶教育事業部					

科目名	著作権(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	林達也
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	刻々と変わって行く音楽ビジネスの現状を常に吸収し学んでいく。音楽業界の基本構造から学び、著作権から発生する印税の仕組み、またコンサートビジネス/カラオケビジネス/レンタルCDなどの基礎も学ぶ。						
到達目標	音楽業界の基礎/著作権の基礎を理解するとともに、ビジネス的視点で捉えるスキル/考え方を得ることを目的とする。配信ビジネスへの変遷を含め、さまざまな角度から音楽ビジネスと音楽著作権を研究する。著作権を主とした権利マネジメント/ビジネスの概要を学んで行く。また、現代における著作権の問題点などもあわせて理解を深める。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月19日	講義・演習	オリエンテーション/音楽業界の構造(1)/日本のレコード産業・全体像	教科書準備チェック/配布授業資料復習
2	4月26日	講義・演習	音楽業界の構造(2)/日本レコード協会・JASRAC	教科書予習/配布授業資料復習
3	5月10日	講義・演習	著作権の基礎(1)概要/構造	教科書予習/配布授業資料復習
4	5月17日	講義・演習	著作権の基礎(2)歴史/現在	教科書予習/配布授業資料復習
5	5月24日	講義・演習	アーティストの権利/印税とは	教科書予習/配布授業資料復習
6	5月31日	講義・演習	収入シミュレーション(CD販売)	教科書予習/授業内課題提出/配布授業資料復習
7	6月7日	講義・演習	収入シミュレーション(ダウンロード/音楽配信)	教科書予習/授業内課題提出/配布授業資料復習
8	6月14日	講義・演習	日本におけるカラオケの歴史と市場/印税配分	教科書予習/配布授業資料復習
9	6月21日	講義・演習	著作権の保護期間/フェアユース/問題点など	教科書予習/授業内課題提出/配布授業資料復習
10	7月5日	講義・演習	ミュージックビデオ/ プロモーションビデオの歴史と成り立ち	教科書予習/配布授業資料復習
11	7月12日	講義・演習	レンタルCD市場の歴史と著作権	教科書予習/配布授業資料復習
12	7月19日	講義・演習	ツアー/ライブ/コンサートビジネスの基礎(1)	教科書予習/配布授業資料復習
13	8月30日	講義・演習	ツアー/ライブ/コンサートビジネスの基礎(2)	教科書予習/配布授業資料復習
14	9月6日	講義・演習	音楽の仕事/音楽にまつわる職業の考察	教科書予習/配布授業資料復習
15	9月13日	講義・演習	まとめ/復習/期末課題への取り組み	期末課題取組準備
準備学習 時間外学習			教科書などを用いた授業への予習/毎授業で配布される授業資料を復習	
【使用教科書・教材・参考書】				
よくわかる音楽著作権ビジネス 基礎編/実践編 5th Edition (安藤 和宏) / 18歳の著作権入門 (福井 健策)				

科目名	著作権(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	林達也
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	刻々と変わって行く音楽ビジネスの現状を常に吸収し学んでいく。音楽業界の基本構造から学び、著作権から発生する印税の仕組み、またコンサートビジネス/カラオケビジネス/レンタルCDなどの基礎も学ぶ。 また、著作権の概念や目的の基本を理解する。著作物とは何であるかを理解した上で、現代における音楽著作権の問題点なども含め、著作権使用料/印税などの具体例や実例を挙げて考察していく。						
到達目標	音楽業界の基礎/著作権の基礎を理解するとともに、ビジネス的視点で捉えるスキル/考え方を得ることを目的とする。配信ビジネスへの変遷を含め、さまざまな角度から音楽ビジネスと音楽著作権を研究する。 著作権を主とした権利マネジメント/ビジネスの概要を学んで行く。また、現代における著作権の問題点などもあわせて理解を深める。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月4日	講義・演習	オリエンテーション/音楽業界の構造・応用編(1)	教科書準備チェック/配布授業資料復習
2	10月11日	講義・演習	音楽産業の構造・応用編(2)	教科書予習/配布授業資料復習
3	10月18日	講義・演習	著作権の必須知識/使える著作権	教科書予習/配布授業資料復習
4	10月25日	講義・演習	ツアー/ライブ/コンサートビジネスの応用(1)	教科書予習/配布授業資料復習
5	11月1日	講義・演習	ツアー/ライブ/コンサートビジネスの応用(2)	教科書予習/配布授業資料復習
6	11月15日	講義・演習	音楽における著作権侵害とは?実例/具体例/判例など(1)	教科書予習/授業内課題提出/配布授業資料復習
7	11月22日	講義・演習	音楽における著作権侵害とは?実例/具体例/判例など(2)	教科書予習/授業内課題提出/配布授業資料復習
8	11月29日	講義・演習	国際的な音楽活動/世界の音楽ビジネス事情	教科書予習/配布授業資料復習
9	12月6日	講義・演習	音楽ビジネスにおける各種契約(1)	教科書予習/授業内課題提出/配布授業資料復習
10	12月20日	講義・演習	音楽ビジネスにおける各種契約(2)	教科書予習/授業内課題提出/配布授業資料復習
11	1月17日	講義・演習	音楽ビジネスにおける録音フォーマットの歴史と変遷	教科書予習/配布授業資料復習
12	1月24日	講義・演習	変わりゆく著作権/時代と著作権との関係と問題点	教科書予習/授業内課題提出/配布授業資料復習
13	1月31日	講義・演習	現在の音楽産業/これから10年後のビジネスモデル	教科書予習/配布授業資料復習
14	2月14日	講義・演習	音楽の仕事/音楽にまつわる職業の考察・応用編	教科書予習/配布授業資料復習
15	2月21日	講義・演習	まとめ/復習/期末課題への取り組み	期末課題取組準備
準備学習 時間外学習			教科書などを用いた授業への予習/毎授業で配布される授業資料を復習	
【使用教科書・教材・参考書】				
よくわかる音楽著作権ビジネス 基礎編/実践編 5th Edition (安藤 和宏) / 18歳の著作権入門 (福井 健策)				

科目名	グローバルコミュニケーション(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	ILC
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	120 (8単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	オンデマンド講義と対面の発話を交えて、会話力・リスニング力・読解力・筆記力4つの技能からなる総合的な英語力を身に付ける。						
到達目標	英語をコミュニケーションツールの一つとして活用し、自身の考えを相手に伝え、相手の言葉も理解できるようになること						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月15日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
2	4月22日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
3	5月13日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
4	5月20日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
5	5月27日	講義・演習	第1回～4回までの復習	授業の復習・予習
6	6月3日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
7	6月10日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
8	6月17日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
9	6月24日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
10	7月8日	講義・演習	第5回～9回までの復習	授業の復習・予習
11	7月15日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
12	8月26日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
13	9月2日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
14	9月9日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
15	9月16日	講義・演習	第11回～14回までの復習、プレゼンテーション	授業の復習
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
EVOLVE 1～5				

科目名	グローバルコミュニケーション(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	ILC
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	120 (8単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	オンデマンド講義と対面の発話を交えて、会話力・リスニング力・読解力・筆記力4つの技能からなる総合的な英語力を身に付ける。						
到達目標	英語をコミュニケーションツールの一つとして活用し、自身の考えを相手に伝え、相手の言葉も理解できるようになること						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月7日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
2	10月14日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
3	10月21日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
4	10月28日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
5	11月4日	講義・演習	第1回～4回までの復習	授業の復習・予習
6	11月11日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
7	11月18日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
8	11月25日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
9	12月2日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
10	12月9日	講義・演習	第5回～9回までの復習	授業の復習・予習
11	12月16日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
12	1月20日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
13	1月27日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
14	2月3日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
15	2月17日	講義・演習	第11回～14回までの復習、プレゼンテーション	授業の復習
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
EVOLVE 1～5				

科目名	エンターテイメントAdvance(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	堀夏美
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	多様に変化していくエンターテイメント業界を再構築して捉えます。 マネジメントにおけるベーシックな基礎からマネジメントスキルとして必要な宣伝・営業等を実践を通して学びます。 タレントの売り出し方、スケジューリングやコミュニケーションを取ることに重きをおきながら自身の思い描くマネジメントを実現できる よう提案(企画書・プレゼンテーション)。提案を企業と取り組むことを目指します。						
到達目標	宣伝・営業方法・SNSの活用法を理解することができる マネジメントの方法を習得する。 企画書・プレゼンテーションで自身の考えを発表する。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義・演習	マネジメント基礎 マネージメントとは何かを理解する	レポート
2	10月9日	講義・演習	アーティストを売り出す方法を知ることができる	レポート
3	10月23日	講義・演習	スケジューリングすることの意味を理解する事ができる	レポート
4	10月30日	講義・演習	営業用資料を作成する必要性を理解し作成する1	レポート
5	11月6日	講義・演習	営業用資料を作成する必要性を理解し作成する2	レポート
6	11月13日	講義・演習	営業用資料を提案発表することができる	レポート
7	11月20日	講義・演習	営業資料を通しディスカッションを実施することができる	レポート
8	11月27日	講義・演習	SNSの活用方法を知る	レポート
9	12月4日	講義・演習	SNSをつかったトレンドリサーチを実施することができる	レポート
10	12月18日	講義・演習	SNSを使った宣伝を企画することができる	レポート
11	1月15日	講義・演習	SNSを使った企画を提案発表することができる1	レポート
12	1月22日	講義・演習	SNSを使った企画を提案発表することができる2	レポート
13	1月29日	講義・演習	営業資料を通しディスカッションを実施することができる	レポート
14	2月12日	講義・演習	イベント実践を通してマーケティング業務を学ぶ	レポート
15	2月19日	講義・演習	イベント実践を通してマーケティング業務を学ぶ	レポート
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	イベント制作(3) Event Management Produce(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	松尾有里子 堀夏美
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	イベント実践における制作業務を幅広く学習します。イベントを通して運営・制作・舞台進行・音響・照明の知識を総合的に理解するためにそれぞれの分野を掘り下げて、柔軟な考え方を習得するために実践準備からスタートしていきます。この実践準備からコミュニケーションスキルを養い、グループワークを主軸にそれぞれの立場で意見を言えるようになりミーティング力を高めます。当日までの各セクションのスタッフワークを繰り返し学ぶことでイベントを制作することができます。						
到達目標	イベントを企画・制作できるようになる。 イベントを実際に運営する。 運営マニュアル・運営資料・舞台制作資料・プラン表を作れるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月20日	講義・演習	イベントに必要な資料を理解できる	ワークシート
2	4月27日	講義・演習	イベント運営における資料作成ができるようになる	ワークシート
3	5月18日	講義・演習	イベント制作における必要な資料を作成する	ワークシート
4	5月25日	講義・演習	イベント制作を通してプレゼンテーションをできるようになる	ワークシート
5	6月1日	講義・演習	イベント制作時に必要なプランニング表を作成する事ができる	ワークシート
6	6月8日	講義・演習	プランニングをもとに機材オペレーションをできるようになる	ワークシート
7	6月15日	講義・演習	プランニングしたものをチームで発表できる	ワークシート
8	6月22日	講義・演習	イベントタイムテーブルを理解し実際の時間を割り出す事ができる	ワークシート
9	7月6日	講義・演習	各セクションとコミュニケーションを取るツールを学ぶ	ワークシート
10	7月13日	講義・演習	チームでの打ち合わせを行うことができる。ミーティング実習	ワークシート
11	7月20日	講義・演習	本番当日の進行状況を理解することができる	ワークシート
12	8月24日	講義・演習	イベントにおける振り返りをすることで問題点を理解することができる	ワークシート
13	8月31日	講義・演習	イベントの振り返り資料を作成することができ全体に共有する。ミーティング実習	ワークシート
14	9月7日	講義・演習	イベント実践を通してイベントマネジメントを学ぶ	レポート
15	9月14日	講義・演習	イベント実践を通してイベントマネジメントを学ぶ	レポート
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	イベント制作(3) Event Work Produce(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	松尾有里子 堀夏美
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	イベント実践における制作業務を幅広く学習します。イベントを通して運営・制作・舞台進行・音響・照明の知識を総合的に理解するためにそれぞれの分野を掘り下げて、柔軟な考え方を習得するために実践準備からスタートしていきます。この実践準備からコミュニケーションスキルを養い、グループワークを主軸にそれぞれの立場で意見を言えるようになりミーティング力を高めます。当日までの各セクションのスタッフワークを繰り返し学ぶことでイベントを制作することができます。						
到達目標	イベントを企画・制作できるようになる。 イベントを実際に運営する。 運営マニュアル・運営資料・舞台制作資料・プラン表を作れるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月20日	講義・演習	イベントに必要な資料を理解できる	ワークシート
2	4月27日	講義・演習	イベント運営における資料作成ができるようになる	ワークシート
3	5月18日	講義・演習	イベント制作における必要な資料を作成する	ワークシート
4	5月25日	講義・演習	イベント制作を通してプレゼンテーションをできるようになる	ワークシート
5	6月1日	講義・演習	イベント制作時に必要なプランニング表を作成する事ができる	ワークシート
6	6月8日	講義・演習	プランニングをもとに機材オペレーションをできるようになる	ワークシート
7	6月15日	講義・演習	プランニングしたものをチームで発表できる	ワークシート
8	6月22日	講義・演習	イベントタイムテーブルを理解し実際の時間を割り出す事ができる	ワークシート
9	7月6日	講義・演習	各セクションとコミュニケーションを取るツールを学ぶ	ワークシート
10	7月13日	講義・演習	チームでの打ち合わせを行うことができる。ミーティング実習	ワークシート
11	7月20日	講義・演習	本番当日の進行状況を理解することができる	ワークシート
12	8月24日	講義・演習	イベントにおける振り返りをすることで問題点を理解することができる	ワークシート
13	8月31日	講義・演習	イベントの振り返り資料を作成することができ全体に共有する。ミーティング実習	ワークシート
14	9月7日	講義・演習	イベント実践を通してイベントマネジメントを学ぶ	レポート
15	9月14日	講義・演習	イベント実践を通してイベントマネジメントを学ぶ	レポート
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	イベント制作(4) Event Management Produce(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	松尾有里子 堀夏美
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	90 (6単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	イベント実践における制作業務を幅広く学習します。イベントを通して運営・制作・舞台進行・音響・照明の知識を総合的に理解するためにそれぞれの分野を掘り下げて、柔軟な考え方を習得するために実践準備からスタートしていきます。この実践準備からコミュニケーションスキルを養い、グループワークを主軸にそれぞれの立場で意見を言えるようになりミーティング力を高めます。当日までの各セクションのスタッフワークを繰り返し学ぶことでイベントを制作することができます。						
到達目標	イベントを企画・制作できるようになる。 イベントを実際に運営する。 運営マニュアル・運営資料・舞台制作資料・プラン表を作れるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月5日	講義・演習	イベント実施のための平面図を理解する	ワークシート
2	10月12日	講義・演習	イベント実施のための会場図面を理解する	ワークシート
3	10月19日	講義・演習	図面を他セクションと共有しミーティングを実施する	ワークシート
4	10月26日	講義・演習	イベント全体を動かすための時間の管理をすることができる	ワークシート
5	11月2日	講義・演習	イベント実施時にリーダーの役割を理解し役割分担を決めることができる	ワークシート
6	11月16日	講義・演習	イベントの種類を理解する。様々なイベントの書類作成	ワークシート
7	11月23日	講義・演習	イベントの特色を割り出し会場をブッキングすることができる	ワークシート
8	11月30日	講義・演習	イベントに向けキックオフミーティングを開催する	ワークシート
9	12月7日	講義・演習	打ち合わせ出でた問題点をディスカッションし解決することができる	ワークシート
10	12月21日	講義・演習	イベント制作におけるフローチャートを理解し資料を作成する	ワークシート
11	1月18日	講義・演習	イベントにおけるマニュアルを作成する事ができる	ワークシート
12	1月25日	講義・演習	スタッフをブッキングし打ち合わせを実施する。	ワークシート
13	2月1日	講義・演習	イベント実施における業務の整理と資料制作をまとめることができる	ワークシート
14	2月8日	講義・演習	イベント実践を通してイベントマネージメントを学ぶ	ワークシート
15	2月15日	講義・演習	イベント実践を通してイベントマネージメントを学ぶ	ワークシート
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	イベント制作(4) Event Work Produce(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	松尾有里子 堀夏美
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	120 (8単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	イベント実践における制作業務を幅広く学習します。イベントを通して運営・制作・舞台進行・音響・照明の知識を総合的に理解するためにそれぞれの分野を掘り下げて、柔軟な考え方を習得するために実践準備からスタートしていきます。この実践準備からコミュニケーションスキルを養い、グループワークを主軸にそれぞれの立場で意見を言えるようになりミーティング力を高めます。当日までの各セクションのスタッフワークを繰り返し学ぶことでイベントを制作することができます。						
到達目標	イベントを企画・制作できるようになる。 イベントを実際に運営する。 運営マニュアル・運営資料・舞台制作資料・プラン表を作れるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月5日	講義・演習	イベント実施のための平面図を理解する	ワークシート
2	10月12日	講義・演習	イベント実施のための会場図面を理解する	ワークシート
3	10月19日	講義・演習	図面を他セクションと共有しミーティングを実施する	ワークシート
4	10月26日	講義・演習	イベント全体を動かすための時間の管理をすることができる	ワークシート
5	11月2日	講義・演習	イベント実施時にリーダーの役割を理解し役割分担を決めることができる	ワークシート
6	11月16日	講義・演習	イベントの種類を理解する。様々なイベントの書類作成	ワークシート
7	11月23日	講義・演習	イベントの特色を割り出し会場をブッキングすることができる	ワークシート
8	11月30日	講義・演習	イベントに向けキックオフミーティングを開催する	ワークシート
9	12月7日	講義・演習	打ち合わせ出でた問題点をディスカッションし解決することができる	ワークシート
10	12月21日	講義・演習	イベント制作におけるフローチャートを理解し資料を作成する	ワークシート
11	1月18日	講義・演習	イベントにおけるマニュアルを作成することができる	ワークシート
12	1月25日	講義・演習	スタッフをブッキングし打ち合わせを実施する。	ワークシート
13	2月1日	講義・演習	イベント実施における業務の整理と資料制作をまとめることができる	ワークシート
14	2月8日	講義・演習	イベント実践を通してイベントマネージメントを学ぶ	ワークシート
15	2月15日	講義・演習	イベント実践を通してイベントマネージメントを学ぶ	ワークシート
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	イベント制作(4) Event Produce(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	松尾有里子 堀夏美
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	イベント実践における制作業務を幅広く学習します。イベントを通して運営・制作・舞台進行・音響・照明の知識を総合的に理解するためにそれぞれの分野を掘り下げて、柔軟な考え方を習得するために実践準備からスタートしていきます。この実践準備からコミュニケーションスキルを養い、グループワークを主軸にそれぞれの立場で意見を言えるようになりミーティング力を高めます。当日までの各セクションのスタッフワークを繰り返し学ぶことでイベントを制作することができます。						
到達目標	イベントを企画・制作できるようになる。 イベントを実際に運営する。 運営マニュアル・運営資料・舞台制作資料・プラン表を作れるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月5日	講義・演習	イベント実施のための平面図を理解する	ワークシート
2	10月12日	講義・演習	イベント実施のための会場図面を理解する	ワークシート
3	10月19日	講義・演習	図面を他セクションと共有しミーティングを実施する	ワークシート
4	10月26日	講義・演習	イベント全体を動かすための時間の管理をすることができる	ワークシート
5	11月2日	講義・演習	イベント実施時にリーダーの役割を理解し役割分担を決めることができる	ワークシート
6	11月16日	講義・演習	イベントの種類を理解する。様々なイベントの書類作成	ワークシート
7	11月23日	講義・演習	イベントの特色を割り出し会場をブッキングすることができる	ワークシート
8	11月30日	講義・演習	イベントに向けキックオフミーティングを開催する	ワークシート
9	12月7日	講義・演習	打ち合わせ出でた問題点をディスカッションし解決することができる	ワークシート
10	12月21日	講義・演習	イベント制作におけるフローチャートを理解し資料を作成する	ワークシート
11	1月18日	講義・演習	イベントにおけるマニュアルを作成する事ができる	ワークシート
12	1月25日	講義・演習	スタッフをブッキングし打ち合わせを実施する。	ワークシート
13	2月1日	講義・演習	イベント実施における業務の整理と資料制作をまとめることができる	ワークシート
14	2月8日	講義・演習	イベント実践を通してイベントマネージメントを学ぶ	ワークシート
15	2月15日	講義・演習	イベント実践を通してイベントマネージメントを学ぶ	ワークシート
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	イベント制作(4) Event Project Produce(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	松尾有里子 堀夏美
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	イベント実践における制作業務を幅広く学習します。イベントを通して運営・制作・舞台進行・音響・照明の知識を総合的に理解するためにそれぞれの分野を掘り下げて、柔軟な考え方を習得するために実践準備からスタートしていきます。この実践準備からコミュニケーションスキルを養い、グループワークを主軸にそれぞれの立場で意見を言えるようになりミーティング力を高めます。当日までの各セクションのスタッフワークを繰り返し学ぶことでイベントを制作することができます。						
到達目標	イベントを企画・制作できるようになる。 イベントを実際に運営する。 運営マニュアル・運営資料・舞台制作資料・プラン表を作れるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月5日	講義・演習	イベント実施のための平面図を理解する	ワークシート
2	10月12日	講義・演習	イベント実施のための会場図面を理解する	ワークシート
3	10月19日	講義・演習	図面を他セクションと共有しミーティングを実施する	ワークシート
4	10月26日	講義・演習	イベント全体を動かすための時間の管理をすることができる	ワークシート
5	11月2日	講義・演習	イベント実施時にリーダーの役割を理解し役割分担を決めることができる	ワークシート
6	11月16日	講義・演習	イベントの種類を理解する。様々なイベントの書類作成	ワークシート
7	11月23日	講義・演習	イベントの特色を割り出し会場をブッキングすることができる	ワークシート
8	11月30日	講義・演習	イベントに向けキックオフミーティングを開催する	ワークシート
9	12月7日	講義・演習	打ち合わせ出でた問題点をディスカッションし解決することができる	ワークシート
10	12月21日	講義・演習	イベント制作におけるフローチャートを理解し資料を作成する	ワークシート
11	1月18日	講義・演習	イベントにおけるマニュアルを作成することができる	ワークシート
12	1月25日	講義・演習	スタッフをブッキングし打ち合わせを実施する。	ワークシート
13	2月1日	講義・演習	イベント実施における業務の整理と資料制作をまとめることができる	ワークシート
14	2月8日	講義・演習	イベント実践を通してイベントマネージメントを学ぶ	ワークシート
15	2月15日	講義・演習	イベント実践を通してイベントマネージメントを学ぶ	ワークシート
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	音楽史(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	中町俊自
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	ジャズの歴史を時代を追って研究する。異なるジャンル、時代のジャズがいかに現在のポピュラーミュージックに影響を与えているかを考えながら学ぶ。						
到達目標	1)各時代のジャズのスタイルの違いを説明できること。 2)ジャズと他ジャンルの音楽との関係性を知ること。 3)有名な曲の歴史的意義を知る。 4)各自の音楽制作、演奏、企画に役立てる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月20日	講義・演習	ジャズ史概観 この授業で何を学べるのか	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
2	4月27日	講義・演習	ルイ・アームストロング ジャズの誕生	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
3	5月18日	講義・演習	デューク・エリントン ビッグ・バンドの時代	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
4	5月25日	講義・演習	グレン・ミラー ビッグ・バンドの広がり	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
5	6月1日	講義・演習	チャーリー・パーカー ビバップの始まりと進化	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
6	6月8日	講義・演習	「クールの誕生」	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
7	6月15日	講義・演習	マイルズ・デイヴィスと「モード」	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
8	6月22日	講義・演習	オーネット・コールマンとフリージャズ	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
9	7月6日	講義・演習	ジョン・コルトレーン	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
10	7月13日	講義・演習	マイルズ・デイヴィス「ピッチズ・ブルー」	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
11	7月20日	講義・演習	ハービー・ハンコックとフュージョン	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
12	8月24日	講義・演習	コンテンポラリー・ジャズ	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
13	8月31日	講義・演習	ジャズ・ヴォーカリスト	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
14	9月7日	講義・演習	日本のジャズのあゆみ	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
15	9月14日	講義・演習	テスト	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
準備学習 時間外学習			自分から進んで授業に関する音源を探して聴くこと。	
【使用教科書・教材・参考書】				
適宜、講師が用意。				

科目名	音楽史(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	中町俊自
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	ロックの歴史を時代を追って研究する。異なるジャンル、時代のロックがいかに現在のポピュラーミュージックに影響を与えているかを考えながら学ぶ。						
到達目標	1)各時代のジャズのスタイルの違いを説明できること。 2)音楽との関係性を知ること。 3)有名な曲の歴史的意義を知る。 4)各自の音楽制作、演奏、企画に役立てる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月5日	講義・演習	ロック史の概観と2000年以降のロックシーン	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
2	10月12日	講義・演習	ロックの誕生～若者向けの商業音楽の成立	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
3	10月19日	講義・演習	エルヴィス・プレスリーの登場による社会の変化	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
4	10月26日	講義・演習	ザ・ビートルズが起こした革命	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
5	11月2日	講義・演習	ポップ・ディランとフォークソング、フォークロック	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
6	11月16日	講義・演習	ソウル・ミュージックを学ぶ	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
7	11月23日	講義・演習	「サージェント・ペパーズ」が切り開いた世界を知る	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
8	11月30日	講義・演習	70年代へ続く道	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
9	12月7日	講義・演習	70年代、ロックの大衆化	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
10	12月21日	講義・演習	パンクの登場	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
11	1月18日	講義・演習	MTVによる時代の変化とHIPHOPが生み出した新しいグルーブ	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
12	1月25日	講義・演習	テスト	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
13	2月1日	講義・演習	90年代、グランジの時代／まとめ	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
14	2月8日	講義・演習	総まとめ	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
15	2月15日	講義・演習	テスト	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
準備学習 時間外学習			自分から進んで授業に関する音源を探して聴くこと。	
【使用教科書・教材・参考書】 適宜、講師が用意。				

科目名	著作権(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	林達也
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	刻々と変わって行く音楽ビジネスの現状を常に吸収し学んでいく。音楽業界の基本構造から学び、著作権から発生する印税の仕組み、またコンサートビジネス/カラオケビジネス/レンタルCDなどの基礎も学ぶ。 また、著作権の概念や目的の基本を理解する。著作物とは何であるかを理解した上で、現代における音楽著作権の問題点なども含め、著作権使用料/印税などの具体例や実例を挙げて考察していく。						
到達目標	音楽業界の基礎/著作権の基礎を理解するとともに、ビジネス的視点で捉えるスキル/考え方を得ることを目的とする。配信ビジネスへの変遷を含め、さまざまな角度から音楽ビジネスと音楽著作権を研究する。 著作権を主とした権利マネジメント/ビジネスの概要を学んで行く。また、現代における著作権の問題点などもあわせて理解を深める。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月19日	講義・演習	オリエンテーション/音楽業界の構造・応用編(1)	教科書準備チェック/配布授業資料復習
2	4月26日	講義・演習	音楽業界の構造(2)/日本レコード協会・JASRAC	教科書予習/配布授業資料復習
3	5月10日	講義・演習	著作権の基礎(1)概要/構造	教科書予習/配布授業資料復習
4	5月17日	講義・演習	著作権の基礎(2)歴史/現在	教科書予習/配布授業資料復習
5	5月24日	講義・演習	アーティストの権利/印税とは	教科書予習/配布授業資料復習
6	5月31日	講義・演習	収入シミュレーション(CD販売)	教科書予習/授業内課題提出/配布授業資料復習
7	6月7日	講義・演習	収入シミュレーション(ダウンロード/音楽配信)	教科書予習/授業内課題提出/配布授業資料復習
8	6月14日	講義・演習	日本におけるカラオケの歴史と市場/印税配分	教科書予習/配布授業資料復習
9	6月21日	講義・演習	著作権の保護期間/フェアユース/問題点など	教科書予習/授業内課題提出/配布授業資料復習
10	7月5日	講義・演習	ミュージックビデオ/プロモーションビデオの歴史と成り立ち	教科書予習/配布授業資料復習
11	7月12日	講義・演習	レンタルCD市場の歴史と著作権	教科書予習/配布授業資料復習
12	7月19日	講義・演習	ツアー/ライブ/コンサートビジネスの基礎(1)	教科書予習/配布授業資料復習
13	8月30日	講義・演習	ツアー/ライブ/コンサートビジネスの基礎(2)	教科書予習/配布授業資料復習
14	9月6日	講義・演習	音楽の仕事/音楽にまつわる職業の考察	教科書予習/配布授業資料復習
15	9月13日	講義・演習	まとめ/復習/期末課題への取り組み	期末課題取組準備
準備学習 時間外学習			教科書などを用いた授業への予習/毎授業で配布される授業資料を復習	
【使用教科書・教材・参考書】				
よくわかる音楽著作権ビジネス 基礎編/実践編 5th Edition (安藤 和宏) / 18歳の著作権入門 (福井 健策)				

科目名	著作権(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	林達也
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	刻々と変わって行く音楽ビジネスの現状を常に吸収し学んでいく。音楽業界の基本構造から学び、著作権から発生する印税の仕組み、またコンサートビジネス/カラオケビジネス/レンタルCDなどの基礎も学ぶ。 また、著作権の概念や目的の基本を理解する。著作物とは何であるかを理解した上で、現代における音楽著作権の問題点なども含め、著作権使用料/印税などの具体例や実例を挙げて考察していく。						
到達目標	音楽業界の基礎/著作権の基礎を理解するとともに、ビジネス的視点で捉えるスキル/考え方を得ることを目的とする。配信ビジネスへの変遷を含め、さまざまな角度から音楽ビジネスと音楽著作権を研究する。 著作権を主とした権利マネジメント/ビジネスの概要を学んで行く。また、現代における著作権の問題点などもあわせて理解を深める。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月4日	講義・演習	オリエンテーション/音楽業界の構造・応用編(1)	教科書準備チェック/配布授業資料復習
2	10月11日	講義・演習	音楽産業の構造・応用編(2)	教科書予習/配布授業資料復習
3	10月18日	講義・演習	著作権の必須知識/使える著作権	教科書予習/配布授業資料復習
4	10月25日	講義・演習	ツアー/ライブ/コンサートビジネスの応用(1)	教科書予習/配布授業資料復習
5	11月1日	講義・演習	ツアー/ライブ/コンサートビジネスの応用(2)	教科書予習/配布授業資料復習
6	11月15日	講義・演習	音楽における著作権侵害とは?実例/具体例/判例など(1)	教科書予習/授業内課題提出/配布授業資料復習
7	11月22日	講義・演習	音楽における著作権侵害とは?実例/具体例/判例など(2)	教科書予習/授業内課題提出/配布授業資料復習
8	11月29日	講義・演習	国際的な音楽活動/世界の音楽ビジネス事情	教科書予習/配布授業資料復習
9	12月6日	講義・演習	音楽ビジネスにおける各種契約(1)	教科書予習/授業内課題提出/配布授業資料復習
10	12月20日	講義・演習	音楽ビジネスにおける各種契約(2)	教科書予習/授業内課題提出/配布授業資料復習
11	1月17日	講義・演習	音楽ビジネスにおける録音フォーマットの歴史と変遷	教科書予習/配布授業資料復習
12	1月24日	講義・演習	変わりゆく著作権/時代と著作権との関係と問題点	教科書予習/授業内課題提出/配布授業資料復習
13	1月31日	講義・演習	現在の音楽産業/これから10年後のビジネスモデル	教科書予習/配布授業資料復習
14	2月14日	講義・演習	音楽の仕事/音楽にまつわる職業の考察・応用編	教科書予習/配布授業資料復習
15	2月21日	講義・演習	まとめ/復習/期末課題への取り組み	期末課題取組準備
準備学習 時間外学習			教科書などを用いた授業への予習/毎授業で配布される授業資料を復習	
【使用教科書・教材・参考書】				
よくわかる音楽著作権ビジネス 基礎編/実践編 5th Edition (安藤 和宏) / 18歳の著作権入門 (福井 健策)				

科目名	キャリアデザイン(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	堀夏美口
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	就職における、面接マナー・現在出ている求人の確認、一人ひとりが目標とする就職先の希望を明確にする 就職活動の準備として自己分析のポイントを理解し、就職活動への苦手意識を軽減する目的の授業 ・自己分析を通して自己理解を深める ・就職活動の仕組みを知る ・就職活動において重要な自己表現能力を磨く						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 適切に相手に伝えられる言語化力を身につける 幅広い考え方で物事を柔軟に捉えられるようになる 自ら考え、判断できるようになる 						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月4日	講義・演習	就職活動の全体像と流れを知る	自分自身の分析
2	10月11日	講義・演習	自己分析の重要性や方法を知る	講義の内容をメモを取り振り返る(レポート)
3	10月18日	講義・演習	就職活動の軸を見つける	講義の内容をメモを取り振り返る(レポート)
4	10月25日	講義・演習	会社選びの方法を知る	講義の内容をメモを取り振り返る(レポート)
5	11月1日	講義・演習	自己PRに書く内容を見つける	講義の内容をメモを取り振り返る(レポート)
6	11月8日	講義・演習	履歴書 / ESでの伝え方を知る	講義の内容をメモを取り振り返る(レポート)
7	11月15日	講義・演習	志望動機 / ガクチカに書く内容を見つける	レポート
8	11月22日	講義・演習	履歴書 / ESを書き、言語化力を磨く	講義の内容をメモを取り振り返る(レポート)
9	11月29日	講義・演習	面接で話す準備をする	講義の内容をメモを取り振り返る(レポート)
10	12月6日	講義・演習	就職活動のマナーを身につける	講義の内容をメモを取り振り返る(レポート)
11	12月13日	講義・演習	模擬面接を通して面接の感覚を掴む	企画制作に関わる資料の製作(レポート)
12	12月20日	講義・演習	グループディスカッションの流れを理解する	講義の内容をメモを取り振り返る(レポート)
13	1月10日	講義・演習	模擬面接を通して質問の意図を理解する	講義の内容をメモを取り振り返る(レポート)
14	1月17日	講義・演習	イベント実践を通して社会人としての振る舞いを学ぶ	レポート
15	1月31日	講義・演習	イベント実践を通して社会人としての振る舞いを学ぶ	レポート
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	韓国語検定対策講座(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	堀夏美
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	TOPIK II 検定(5級)習得に向けた韓国語学習 国際通用韓国語標準教育課程」が提示している初級文法90個習得 Part1(学習)は、学習目標に応じた言語知識の学習 「Part2(実践)」は、「リスニングとスピーキング」「リーディングとライティング」課題に分けられます。「リスニングとスピーキング」は、「Part1(学習)」で学んだ言語知識を活用し、リスニングとスピーキングの課題を実際に行います。「リーディングとライティング」では、リーディングとライティングの課題を実際に行います。「課題」では、学習した内容をすべて活用し、実際のコミュニケーションを体験できるように学習していきます						
到達目標	1・ネイティブ発音をイントネーションで話することができる。 2. 日常生活の会話を身に付ける。 3. 単語力を身につける。 4. TOPIK II 検定(5級)習得						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月19日	講義・演習	韓国語で気候と天気について聞いて話することができる。気候と天気に関する記事を読み書きすることができる	レポート課題
2	4月26日	講義・演習	韓国語で買い物場所について聞いて話せる。買い物場所に関する記事を読み書きすることができる	レポート課題
3	5月10日	講義・演習	韓国語でルックスについて聞いて話することができる。ルックスに関連する文を読み書きすることができる	レポート課題
4	5月17日	講義・演習	韓国語でショッピングや食材について聞いて話せる。ショッピングや食材に関する記事を読み書きすることができる	レポート課題
5	5月24日	講義・演習	韓国語で外食と注文について聞いて話することができる。外食と注文に関連する文を読み書きすることができる	レポート課題
6	5月31日	講義・演習	韓国語で休暇計画について聞いて話することができる。休暇計画に関する記事を読み書きすることができる	レポート課題
7	6月7日	講義・演習	韓国語で健康状態と治療方法について聞いて話することができる。健康状態と治療方法に関する記事を読み書きすることができる	レポート課題
8	6月14日	講義・演習	韓国語で映画前売りについて聞いて話せる。映画の前売りに関する記事を読み書きすることができる	レポート課題
9	6月21日	講義・演習	韓国語で休日にする活動について聞いて話せる。休日にする活動に関連する文を読み書きすることができる	レポート課題
10	7月5日	講義・演習	韓国語で学校生活と規則について聞いて話することができる。学校生活と規則に関する記事を読み書きすることができる	レポート課題
11	7月12日	講義・演習	韓国語で失われた物を探す会話を聞いて話せる。物を失った経験に関連する文を読み書きすることができる	レポート課題
12	7月19日	講義・演習	韓国語で対人関係について聞いて話せる。対人関係に関する文を読み書きすることができる	レポート課題
13	8月30日	講義・演習	韓国語で家事に関する話を聞いて話せる。家事に関する記事を読み書きすることができる	レポート課題
14	9月6日	講義・演習	イベント実践を通して会話技術を学ぶ	前期に学んだ内容の復習を行う
15	9月13日	講義・演習	イベント実践を通して会話技術を学ぶ	前期に学んだ内容の復習を行う
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
オンライン世宗学堂 サイバー韓国語初級 2 テキスト				

科目名	韓国語検定対策講座(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	堀夏美
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	TOPIK II 検定(5級)習得に向けた韓国語学習 国際通用韓国語標準教育課程」が提示している初級文法90個習得 Part1(学習)は、学習目標に応じた言語知識の学習 「Part2(実践)」は、「リスニングとスピーキング」「リーディングとライティング」課題に分けられます。「リスニングとスピーキング」は、「Part1(学習)」で学んだ言語知識を活用し、リスニングとスピーキングの課題を実際に行います。「リーディングとライティング」では、リーディングとライティングの課題を実際に行います。「課題」では、学習した内容をすべて活用し、実際のコミュニケーションを体験できるように学習していきます						
到達目標	1. ネイティブ発音をイントネーションで話すことができる。 2. 日常生活の会話を身に付ける。 3. 単語力を身につける。 4. TOPIK II 検定(5級)習得						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月4日	講義・演習	便宜施設の利用について聞いて話すことができる。 便宜施設の利用に関する文章を読み書きすることができる。	レポート課題
2	10月11日	講義・演習	配達食品について聞いて話すことができる。 配達食品に関する記事を読み書きすることができる	レポート課題
3	10月18日	講義・演習	服について聞いて話すことができる。 服に関する文章を読んで書くことができる。	レポート課題
4	10月25日	講義・演習	趣味と関心事について聞いて話すことができる。 趣味や関心事に関する記事を読んで書くことができる。	レポート課題
5	11月1日	講義・演習	招待や会議について聞いて話すことができる。 招待や会議に関する記事を読んで書くことができる	レポート課題
6	11月15日	講義・演習	住宅環境について聞いて話すことができる。 住宅環境に関する記事を読み書きすることができる	レポート課題
7	11月22日	講義・演習	約束(拒絶)について聞いて話すことができる。 約束(拒絶)に関する文章を読み書きすることができる。	レポート課題
8	11月29日	講義・演習	総合問題1 検定に向けた模擬テストを実施する	レポート課題
9	12月6日	講義・演習	総合問題2 検定に向けた模擬テストを実施する	レポート課題
10	12月20日	講義・演習	総合問題3 検定に向けた模擬テストを実施する リスニング	レポート課題
11	1月17日	講義・演習	総合問題4 検定に向けた模擬テストを実施する リスニング	レポート課題
12	1月24日	講義・演習	総合問題5 検定に向けた模擬テストを実施する 会話	レポート課題
13	1月31日	講義・演習	総合問題2 検定に向けた模擬テストを実施する 会話	レポート課題
14	2月14日	講義・演習	イベント実践を通して会話技術を学ぶ	レポート課題
15	2月21日	講義・演習	イベント実践を通して会話技術を学ぶ	レポート課題
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
KO韓国語「文法」トレーニング、できる韓国語初級1、ハングル能力検定問題集、過去問題集				

科目名	就職対策講座(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	飯泉さか江
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	就職における、面接マナー・現在出ている求人の確認、一人ひとりが目標とする就職先の希望を明確にする						
到達目標	社会人としての基礎力(メールの送り方、挨拶の仕方、電話の仕方、履歴書の書き方など)を学び、働くことの意味や仕事の職種、内容について考える事で自らの将来像をイメージできるようにする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義・演習	自分の仕事のタイプについて知ることができる	レポート
2	5月8日	講義・演習	キャリアをデザインしよう/ステイブジョブスの偶然をキャリアに	レポート
3	5月15日	講義・演習	学生生活キャリアイメージを理解する	レポート
4	5月22日	講義・演習	自分らしさ/自信をみにつける事ができる	レポート
5	5月29日	講義・演習	コミュニケーションの難しさを理解する	レポート
6	6月5日	講義・演習	コミュニケーション例/説明力を学ぶ	レポート
7	6月12日	講義・演習	面接など基本を理解する	レポート
8	6月19日	講義・演習	身だしなみについて知る	レポート
9	6月26日	講義・演習	働きがいとは/次回の課題を考える事ができる	レポート
10	7月3日	講義・演習	インタビュー課題を理解する	レポート
11	7月10日	講義・演習	PDCAサークル/仕事の心身を理解する	レポート
12	7月17日	講義・演習	仕事の収入の成り立ち/収入について理解する	レポート
13	8月28日	講義・演習	内定が出てから行うこと理解する	レポート
14	9月4日	講義・演習	イベント実践を通して社会人としての振る舞いを学ぶ	レポート
15	9月11日	講義・演習	イベント実践を通して社会人としての振る舞いを学ぶ	レポート
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	就職対策講座(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	飯泉さか江
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	就職における、面接マナー・現在出ている求人の確認、一人ひとりが目標とする就職先の希望を明確にする						
到達目標	社会人としての基礎力(メールの送り方、挨拶の仕方、電話の仕方、履歴書の書き方など)を学び、働くことの意味や仕事の職種、内容について考える事で自らの将来像をイメージできるようにする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義・演習	自己分析 自らの得意、強みを知る	レポート
2	10月9日	講義・演習	自分の発信と相手側の受け取り方について	レポート
3	10月23日	講義・演習	グループワークの進め方	レポート
4	10月30日	講義・演習	臨機応変の対応力について	レポート
5	11月6日	講義・演習	社会人失敗例について知る	レポート
6	11月13日	講義・演習	10年後の自分について目標を持つ	レポート
7	11月20日	講義・演習	今行うべきことの理解と、学びについて	レポート
8	11月27日	講義・演習	対人関係について・自己表現方法について	レポート
9	12月4日	講義・演習	社会が求めるコミュニケーション能力を知る	レポート
10	12月18日	講義・演習	自分のキャリアデザインを書く	レポート
11	1月15日	講義・演習	自分のキャリアデザインを企画書にする	レポート
12	1月22日	講義・演習	自分のキャリアデザインをプレゼンテーションをする	レポート
13	1月29日	講義・演習	他者のキャリアデザインにアドバイスを行う	レポート
14	2月12日	講義・演習	イベント実践を通して社会人としての振る舞いを学ぶ	レポート
15	2月19日	講義・演習	イベント実践を通して社会人としての振る舞いを学ぶ	レポート
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	イベントマネジメント(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	堀夏美
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	イベントの成り立ちを学ぶ。グループワークを通じて実際の職務を円滑にすすめるためのスキルを身に着けます。イベントに必要な集客・宣伝・運営・イベント管理・調整業務からビジネススキルを習得します。チームで業務を行う中でイベントをマネージメントできる人材を育成します。						
到達目標	社会人としてのコミュニケーションスキルの習得、グループワークから実際の業務進行が行えるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月15日	講義・演習	自己紹介・オリエンテーションから人前で話せる力を身につける。	レポート
2	4月22日	講義・演習	イベントの成り立ちを説明できる	レポート
3	5月13日	講義・演習	イベントにおけるディスカッション方法を身につける事ができる	レポート
4	5月20日	講義・演習	グループディスカッション・業務報告ができるようになる。	レポート
5	5月27日	講義・演習	グループディスカッション・業務報告の重要性を理解する	レポート
6	6月3日	講義・演習	グループワーク、資料作成の取りまとめができる	レポート
7	6月10日	講義・演習	イベント実務に必要なコミュニケーションを理解する	レポート
8	6月17日	講義・演習	グループワーク・実務資料(マニュアルの作成)をまとめる方法を学ぶ	レポート
9	6月24日	講義・演習	グループワークを通じたイベントの実施ができる	レポート
10	7月8日	講義・演習	イベント実施後の振り返り、終了報告をグループで行うことができる	レポート
11	7月15日	講義・演習	イベント運営に向けたグループワークでリーダー・調整方法を学習する。	レポート
12	8月26日	講義・演習	FESの運営方法からマネジメントを学ぶことができる。	レポート
13	9月2日	講義・演習	(テスト)運営方法を考案しグループ内で発表することができる	レポート
14	9月9日	講義・演習	イベント実践を通してイベントマネジメントを学ぶ	レポート
15	9月16日	講義・演習	イベント実践を通してイベントマネジメントを学ぶ	レポート
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	イベントマネジメント(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	堀夏美
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	イベントの成り立ちを学ぶ。グループワークを通じて実際の職務を円滑にすすめるためのスキルを身に着けます。イベントに必要な集客・宣伝・運営・イベント管理・調整業務からビジネススキルを習得します。チームで業務を行う中でイベントをマネージメントできる人材を育成します。						
到達目標	社会人としてのコミュニケーションスキルの習得、グループワークから実際の業務進行が行えるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月7日	講義・演習	イベント実習の振り返りをおこない業務報告ができる	レポート
2	10月14日	講義・演習	新しいイベントに向けたグループワークでリーダーシップを習得	レポート
3	10月21日	講義・演習	グループ発表1 プレゼンテーションの取りまとめ方法を学ぶ	レポート
4	10月28日	講義・演習	プレゼンテーションを通じて問題点の洗い出しを行い業務を	レポート
5	11月4日	講義・演習	グループワーク 分析結果をまとめることができる	レポート
6	11月11日	講義・演習	分析結果から運営資料をまとめる方法を学ぶ	レポート
7	11月18日	講義・演習	グループ発表2 プレゼンテーションができるようになる	レポート
8	11月25日	講義・演習	グループワーク イベントマネジメントチームマネジメントを理解	レポート
9	12月2日	講義・演習	グループワーク イベントマネジメントチームマネジメントを理解	レポート
10	12月9日	講義・演習	グループワーク イベント業務を進める準備を理解する	レポート
11	12月16日	講義・演習	グループワーク イベント業務の資料を作成する。	レポート
12	1月20日	講義・演習	グループワーク イベント業務の資料を完成する事ができる	レポート
13	1月27日	講義・演習	イベント実行に向けたミーティングをマネジメントすることが	レポート
14	2月10日	講義・演習	イベント実践を通してイベントマネジメントを学ぶ	レポート
15	2月17日	講義・演習	イベント実践を通してイベントマネジメントを学ぶ	レポート
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	グローバルコミュニケーション (3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	ILC
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	120 (8単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	オンデマンド講義と対面の発話を交えて、会話力・リスニング力・読解力・筆記力4つの技能からなる総合的な英語力を身に付ける。						
到達目標	英語をコミュニケーションツールの一つとして活用し、自身の考えを相手に伝え、相手の言葉も理解できるようになること						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月15日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
2	4月22日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
3	5月13日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
4	5月20日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
5	5月27日	講義・演習	第1回～4回までの復習	授業の復習・予習
6	6月3日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
7	6月10日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
8	6月17日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
9	6月24日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
10	7月8日	講義・演習	第5回～9回までの復習	授業の復習・予習
11	7月15日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
12	8月26日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
13	9月2日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
14	9月9日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
15	9月16日	講義・演習	第11回～14回までの復習、プレゼンテーション	授業の復習
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
EVOLVE 1～5				

科目名	グローバルコミュニケーション(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	ILC
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	120 (8単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	オンデマンド講義と対面の発話を交えて、会話力・リスニング力・読解力・筆記力4つの技能からなる総合的な英語力を身に付ける。						
到達目標	英語をコミュニケーションツールの一つとして活用し、自身の考えを相手に伝え、相手の言葉も理解できるようになること						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月7日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
2	10月14日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
3	10月21日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
4	10月28日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
5	11月4日	講義・演習	第1回～4回までの復習	授業の復習・予習
6	11月11日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
7	11月18日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
8	11月25日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
9	12月2日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
10	12月9日	講義・演習	第5回～9回までの復習	授業の復習・予習
11	12月16日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
12	1月20日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
13	1月27日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
14	2月3日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
15	2月17日	講義・演習	第11回～14回までの復習、プレゼンテーション	授業の復習
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
EVOLVE 1～5				